

福岡市南区シニアクラブ連合会ウェブサイトの構築

稲永 健太郎
Kentaro INENAGA

九州産業大学 情報科学部 情報科学科
Faculty of Information Science, Kyusyu Sangyo University
inenaga@is.kyusan-u.ac.jp, <http://www.is.kyusan-u.ac.jp/~inenaga/>

1. サイト構築までの経緯

“デジタルシニア”と呼ばれる、インターネットをメール以外にもアクティブに利用しているシニア世代の人々が、各種シニアクラブに加入し始める時代が到来している。福岡市南区シニアクラブ連合会(以下、単にシニア連)では、会員相互の交流促進や新規会員の加入促進のため、自らの各種活動をこれまで以上に幅広く情報発信する必要が高まってきた。

幅広い情報発信のために、従来から利用してきた会報をはじめとする紙媒体のメディアに加え、ウェブ上で情報発信するという方針をシニア連が定めた。サイトの開設は、シニアクラブの活動などを広く情報発信し、会員相互の交流を図ることで活性化を目指そうという、シニア連の方々の思いを発端としている。

通常、シニアクラブのサイト構築および運営については、運営の為のノウハウ不足や費用が捻出できない等の理由で、サイト構築を断念することが多いようである。そこで、平成 22(2010)年 2 月に、シニア連から九州産業大学情報科学部(以下、単に学部)へサイト構築への支援協力の依頼があった。

2. サイト構築までの取り組み

サイト構築にあたり、サイト構成および掲載コンテンツの収集作業をシニア連が、サイトのデザイン設計やデジタルコンテンツへの変換、サイトの実装を学部が担当することとし、それぞれが連携して作業を進めることとした。具体的には、学部側では、著者がサイトデザインの設計等を担当した。シニア連側では、シニア連所属の各種団体がコンテンツを提供し、事務局がそれらを取りまとめた。

将来的に当該サイトを継続的かつ自立して運用していくことを目指し、運用の容易さ、低コストを意識したサイトデザインとしている。具体的には、無料のクラウドサ

ービスである Google サイト[1] を利用することで、ワープロソフトの操作程度のスキルを持ち、さらに状況に応じて学部からの技術支援を受けることで、サイト更新が容易に可能でかつコストをかけずにサイト運用できる点が特徴である。

平成 22(2010)年 2 月以降、度重なる協議を経ながら、シニア連と学部が連携して当該サイトを構築し、その成果として平成 24(2012)年 4 月に当該サイト[2]の正式公開にこぎつけた。サイト公開については新聞社からの取材を受けることとなった[3]。



図 1 シニア連ウェブサイトトップページ

3. 現在のサイト運営

今回の活動により当該サイトを正式公開することができた。公開からおよそ 5 ヶ月経過し、定期的に情報を更新している。アクセスの多くは、シニア連所属の各種団体の活動情報へのアクセスであり、活動の情報発信および会員相互の交流に寄与しているものと考えられる。また、申請書やマニュアル等の書類ファイルへのアクセスもあり、例年行われている、シニア連での各種申請書・報告書の書類作成に利用されている模様である。

今後当面の間は、稲永研究室がサイト運営の協力支援を行うこととなっているが、将来的にシニア連が自立して、公開後の管理・運営ができるようにリーダー研修での講演をはじめ、サイト運用に必要となる各種操作方法についての講習会も開催予定である。



図2 シニア連リーダー研修会での講演風景(その1)[4]



図3 シニア連リーダー研修会での講演風景(その2)[4]

4. 今後のサイト運用と改善に向けて

今後はシニア連を主体に、学部が支援協力する形で、シニア連によるウェブ上での情報発信を行っていくこととなる。具体的には、シニア連のリーダー研修の場等を通じて、サイト運用のノウハウを教授する等、学部からの技術支援のもとで、シニア連による自立したサイト運用(コンテンツの充実・更新)を目指す。

今回のサイト構築および今後のサイト運用は、別の効果を生むことが期待されている。図4に示すように、

サイトを中心としてこれまでに交流の少なかった所属会員間・所属団体間の新たな交流や、所属会員の家族をはじめとする地域の人々との新たな交流、福岡市内や別地域のシニアクラブとの交流といった、さまざまな“人つながり”が創出されるものと期待している。

また、学部生とシニア連の各種会員との、年代を超えた交流も期待できる。具体的には、稲永研究室の2012年度ゼミ生の卒業研究として、当該サイトの運用およびFacebookの導入といったテーマの研究も進められている。

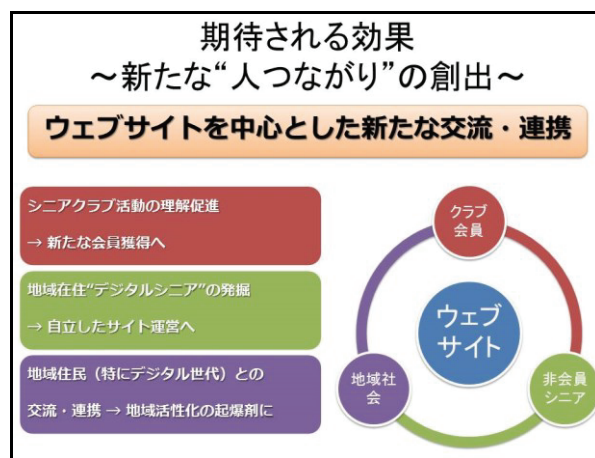


図4 サイト構築・運用で期待される効果

サイト構築および運用に関する一連の取り組みは、福岡県内の市区町村レベルでは先進的な取り組みであり、この取り組み方法が同種あるいは類似のシニア団体にも適用できる見通しを示すものとする。今後各地で行われるであろう、シニアクラブのサイト構築および運営について、今回の活動事例を新たな知見として役立てていただくことを願うばかりである。

謝辞

本報告で紹介した研究につきまして、多大なるご支援ご協力をいただいております。福岡市南区シニアクラブ連合会の関係各位に深く感謝の意を表すものである。

また、本報告は、平成22(2010)年度受託研究「福岡市南区シニアクラブ連合会 ウェブサイトの構築」「福岡市南区シニアクラブ連合会 ウェブサイト(よかばいカード事業)の構築」および平成23(2011)年度受託研

究「福岡市南区シニアクラブ連合会 ウェブサイトの構築」に依っている.

◇ 参考文献 ◇

- [1] Google サイト <https://sites.google.com/>
- [2] 福岡市南区シニアクラブ連合会ウェブサイト
<https://sites.google.com/site/fcmwscf/home>, 2012
年4月
- [3] 西日本新聞社:IT化で会員増やせ 南区シニアク
ラブ連がHP, 西日本新聞 2012 年 5 月 31 日朝刊
- [4] 稲永健太郎:老人クラブとインターネットの活用,
福岡市南区シニアクラブ連合会リーダー研修会, 2012
年2月